



健康手帳

85

てんかんの診断と治療

てんかんは、脳の全体ないし一部が過剰な電気活動を起こす性質を持つことで、てんかん発作が繰り返して起きる脳の慢性の病気です。突然意識を失って反応がなくなる、けいれんする、などのてんかん発作が出現します。有病率は約 100 人に 1 人と脳神経の病気の中では比較的頻度が高い病気です。日本に約 100 万人の患者さんがいるといわれています。

てんかんの診断には、1) 問診で詳しく発作の症状を聴取する、2) 脳波でてんかんの波を記録する、3) MRI でてんかん焦点を見つけることが重要となります。

外来の診察室で発作を目撃することは稀であり、患者さんやご家族から発作時の様子を問診で詳しくお聴きすることが重要となります。頻繁に生じる発作であれば、スマートフォンなどでビデオ録画した発作を担当医師に提示いただくと診断に大変有用です。てんかん発作では、発作は毎回同じ症状が出現することが特徴です。

脳波では、発作がないときにも過剰な電気活動が、いわば火花のように出現します。てんかん波を検出することで、脳が過剰な電気活動を起こす性質を持っているかが判定できます。また、てんかん波が脳の全体か一部から出現しているかで、全般てんかん、焦点てんかんを判別することもできます。

焦点てんかんでは、てんかん焦点が MRI で「見える」

時代となりました。軽微な脳の傷を見落とさないように調整したてんかん診断用の撮像法で検査することが大切です。当院では、てんかん焦点の検出を高める専門的な撮像法で MRI 撮影を行っています。

てんかんの治療は内服と手術の 2 種類があり、抗てんかん薬は、発作型、およびてんかん症候群の診断をもとに選択します。抗てんかん薬は少量で開始して漸増していきます。最初の抗てんかん薬で発作が抑制されず、無効と判断された場合には次の薬剤を投与します。適切な抗てんかん薬を単剤、もしくは併用により、1～2 年で、2 剤試みても発作が抑制できない場合は薬剤抵抗性（難治性）てんかんと判断され、手術などの外科的治療などが考慮されます。てんかんの病気の種類によっては、薬で発作が止まらない難治の患者さんでも外科手術で発作をなくすことができますのでご相談ください。

より詳しい検査、治療の説明については神戸大学てんかんセンターホームページをご覧ください。



●てんかんセンター●

URL <https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/epilepsy/>



QR コード

病院の 基本理念

1. 患者中心の医療の実践
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 先進医療の開発と推進
4. 地域医療連携の強化
5. 災害救急医療の拠点活動
6. 医療を通じての国際貢献

目次

健康手帳 (85) てんかんの診断と治療	1
肝疾患相談センターについて	2
健康レシピ 第85回 大豆ミートの野菜ポロネーゼ	3
診療科から 精神科神経科	4
神戸市難病相談支援センターからのご案内	4
がん相談室からのご案内	4

神戸大学病院に

肝疾患相談センターができました!!

① 本院は「肝疾患診療連携拠点病院」に指定されています

肝疾患診療連携拠点病院とは、兵庫県の肝疾患診療の中核を担う病院のことで、これまで兵庫医科大学病院がその役割を担っていました。2022年4月からは、神戸大学病院も拠点病院に指定され、肝炎コーディネーターの育成や肝疾患の予防・治療の啓蒙に努めます。

肝疾患診療連携拠点病院



② 肝疾患相談センターを病院内に開設しました

肝拠点病院の取り組みの一環として、この度「肝疾患相談センター」を開設いたしました。地域の皆様の肝臓の病気に関する不安・疑問に対して、最も身近な窓口でありたいと思っています。肝臓の病気といっても様々ですし、医療費助成や医療機関に関することなど幅広く対応していきます。



ご利用案内

相談頂ける方：兵庫県内にお住まいで、肝疾患でお悩みの方

相談内容：

- ・肝疾患に関しての一般的な疑問、お悩み
 - ・兵庫県内で受診できる医療機関などの情報提供
 - ・肝炎治療に関する公費助成やその手続き
- など肝疾患のよろずや的な窓口です。

もちろん、相談料は無料です。

基本的には医師が相談員になりますが、看護師、社会福祉士などとも協力しています。

予約方法：

毎週月・水・金曜日(祝日除く)の午前9時から12時です。当院の代表電話番号 078-382-5111 までご連絡いただき、『肝疾患相談センターへ』とお伝えいただくと、患者相談窓口の事務員が予約を取らせていただきます。

相談日時：予約日同日の午後3時から5時に相談員よりお電話いたします。



神戸大学 肝拠点病院

検索

みなさまに当センターをよりよく知っていただくためにホームページを開設しています。ご興味のある方は、是非アクセスください。



消化器内科 肝臓外来のご案内

当院では、「肝臓専門医」による肝臓外来を、毎日設けています。地域の医師と連携しながら、みなさまから身近に相談できる外来を目指しています。もちろん肝疾患相談センターへのご相談から受診につながることもありますので、肝疾患でお悩みの際には当センターにご連絡ください。

月	火	水	木	金
矢野	塩見*	山本(午前)/南	矢野/吉田	上田

*女性医師





一品料理で満足感アップ

低エネルギーメニュー編

大豆ミートの野菜ボロネーゼ

栄養量 (1人分)

エネルギー	556kcal
たんぱく質	19.3g
脂質	12.6g
炭水化物	87.4g
(糖質)	79.8g
食物繊維	7.6g
食塩相当量	1.3g

暖かく過ごしやすい日が続き、心地よい春風薫る季節となりました。そんな華やかな季節にピッタリな、人気のイタリア料理「ボロネーゼ」をご紹介します。

今回は、今注目の「大豆ミート」を使ったレシピです。大豆ミートはその名の通りお肉のように加工した大豆食品です。植物性たんぱく質および食物繊維が豊富で、エネルギーや脂質の摂取を控えたい方にもおすすめです。見た目だけでなく、食感や食べ応えもお肉と変わらないおいしさになっていますので、ぜひお試しください。



※写真のお皿は内径22cm、盛り付けは1人分です。



作り方

材料(4人分)

※野菜・きのこ類はすべて正味重量です

スパゲッティ (太さ1.6mm)	400g
大豆ミート(乾燥・ミンチ)	40g
パセリ	適量
黒胡椒	適量

<トマトソース>

トマト缶	300g
にんにく	8g (1かけ)
オレガノ	適量
塩	2.5g (小さじ1/2)
砂糖	3g (小さじ1)
オリーブオイル	30ml (大さじ2)

<ソフリット(香味ベース)>

玉ねぎ	100g (中1/2個)
にんじん	50g (中1/2本)
セロリ	50g (1/2本)
マッシュルーム	80g (8個)
生しいたけ	80g (8個)
塩	2.5g (小さじ1/2)
オリーブオイル	10ml (大さじ2/3)
白ワイン	50ml (1/4カップ)

【下準備】

・大豆ミートは熱湯で5分戻し、水気を切っておく。
・にんにく、玉ねぎ、にんじん、セロリ、マッシュルーム・しいたけは、みじん切りにする。

- 鍋にトマトソース用のオリーブオイルを入れ、にんにくが茶色になるまで弱火で加熱する。
- ①にトマト缶、オレガノ、塩、砂糖を加えて約10分煮込む。
- フライパンにソフリット用のオリーブオイルとみじん切りにした野菜を入れて塩を振り、あめ色になるまで炒める。
- ③に白ワインを入れアルコールを飛ばし、②のソースの中へ入れる。
- テフロン加工のフライパンで戻した大豆ミートを油なしで炒め、焼き色がついたら④のソースの中へ入れる。
- スパゲッティを表示時間通りに茹で、茹で上がったたらソースを盛り付け、お好みでパセリと黒胡椒をかけたら完成。

計量の単位：

1カップ=200ml、大さじ1=15ml、小さじ1=5ml

ここがポイント



- ・ひき肉を大豆ミートにすることで、一般的なボロネーゼと比べてエネルギーを約100kcal、脂質を約1/2カットでき、コレステロールを0mgにすることができます。
- ・大豆ミートはしっかり炒めることにより、独特の大豆臭さが軽減されます。また、香味野菜をしっかり炒めて作るソフリット(香味ベース)により、ソースがより一層味わい深くなります。

メニュー考案：エームサービス(株) 高橋 利矩、編集：栄養管理部 尾上 弘美

食事・栄養についてのご相談は、月～金曜日に予約制で行っています。お気軽に医師、看護師、管理栄養士にお申し出ください。

●栄養相談に関する問い合わせ先●

栄養管理部 ☎078-382-6820 (直通)
受付時間 平日8:30～17:15

精神科神経科

神戸大学精神科神経科では精神疾患を幅広く診療しています。大学病院ならではの治療法として、例えば、入院病棟における、難治性統合失調症の治療薬クロザピンによる治療や統合失調症、気分障害等に用いられる電気けいれん療法などの高度な治療を実施しています。さらに総合病院であることも活かして身体合併症を有した精神疾患患者や摂食障害患者も数多く診療しています。

また外来では、いくつかの専門外来を開設し、より専門性の高い診療を行っています。例としては認知症、ギャンブル障害の専門外来があります。さらに2023年度より児童思春期や若年世代のメンタル問題を総合的に診療する「児童思春期・AYA世代こころの総合診療センター」が開設され、発達障害やそれに合併する様々な精神症状に対して診療を行う体制が整いました。さらにアルコール多飲が背景にある身体疾患患者の抱えるアルコール問題に対して、減酒を視野に入れた治療法も

行っていく予定です。

さらに内科や外科などで入院中にせん妄など精神症状を来した患者さんに対しては当科リエゾンチームで診療をしています。

精神科神経科には医師、看護師、心理士、作業療法士、精神保健福祉士、事務員など様々な職種のスタッフがいるので、チームワークを活かした診療を心がけております。



神戸市難病相談支援センターからのお知らせ

難病療養者さんとそのご家族が、地域で安心して過ごしていけるよう、相談支援を行っています。

【相談室の利用方法】

- 相談方法：電話相談（1回20分程度）
対面相談（1回30分程度）
- 相談員：医療ソーシャルワーカー、看護師
- 相談日時：9時～12時、13時～16時30分
（土・日・祝祭日・年末年始除く）

療養・生活相談

制度利用
医療費負担
患者会紹介
不安 など

就労相談

ハローワークの難病就職
サポーターによる
個別相談
（要予約）

A. 外来診療棟1階



予約優先
☎ 078-382-6600

正面玄関入ってすぐ左手 正面玄関
外来診療棟1階 総合相談窓口

がん患者サロンのご案内

がん相談室では、がんの患者さんが、気軽に、自由に、語り合うこと、共感することで、不安や悩みを軽減し、憩い・安らぎ・勇気を見つける『サロン』を開催しています。

次回開催予定

2023年5月11日(木)
15:00～16:00

参加対象：がん治療中または療養中の方
詳細は腫瘍センターHPから ▶



2023年度 開催予定

7月13日、9月14日、11月9日
1月11日、3月14日（すべて木曜日）

【お問い合わせ先】

がん相談室
☎ 078-382-5830
（受付時間 9:30～16:30）



院外処方箋の使用期限は
発行日を含めて**4日間**です。



病院敷地内
全面禁煙



忘れ物、落とし物は、1階
受付6番窓口でお預かり
しています。内線3075